

# 7 項目の反映に伴う保安規定の 変更について

2020年4月21日  
東京電力ホールディングス株式会社

- 7項目に関する回答文書を保安規定に反映するにあたり、安全文化醸成にかかわる実施事項とすることを満たすよう、次の通り保安規定を策定する。
  - 安全文化は原子力に携わる者全ての務めであることから、全ての者に適用される安全の方針を示す第2条基本方針に回答文書を反映する。
  - 基本方針に反映するにあたっては、安全文化を基礎とし品質保証活動にて実施するという保安活動の考えのもと、回答文書を原子力事業者の基本姿勢（以下、基本姿勢）として要約し反映する。
  - また、基本姿勢に基づき品質保証活動を実施し続けるよう、第3条品質保証計画に紐づけ、PDCAを回していく。
- 回答文書（2017.8.25）は東京電力としての取組みであることから、福島第一、福島第二及び柏崎刈羽原子力発電所の保安規定に反映し、常に立ち返れるよう全文を添付する。

- 回答文書の取組みを保安規定で定める保安活動の基本姿勢として記載するにあたっては、回答文書の内容を序文と7つの姿勢に要約し、基本的な考えとして第2条基本方針に追加記載する。
- 基本姿勢を定めるのは社長の責任であること、また、社長の関与のもとで基本姿勢に基づく品質保証活動として実施し続ける仕組みとするため、第3条品質保証計画（経営者の責任、マネジメントレビュー）に紐づける。

## 保安規定

### 第2条 基本方針

原子力事業者としての基本姿勢

## 保安規定

### 第3条 品質保証計画

5. 経営者の責任

5.6 マネジメントレビュー

- 原子力事業者の基本姿勢は、当社の回答文書をもとに保安活動を念頭に要約し記載する。また、回答文書で記載した内容を当社は主体的に実施し、常に立ち返れるよう、保安規定に全文を添付する。

社長は、福島原子力事故を起こした当事者のトップとして、二度と事故を起こさないと固く誓う。

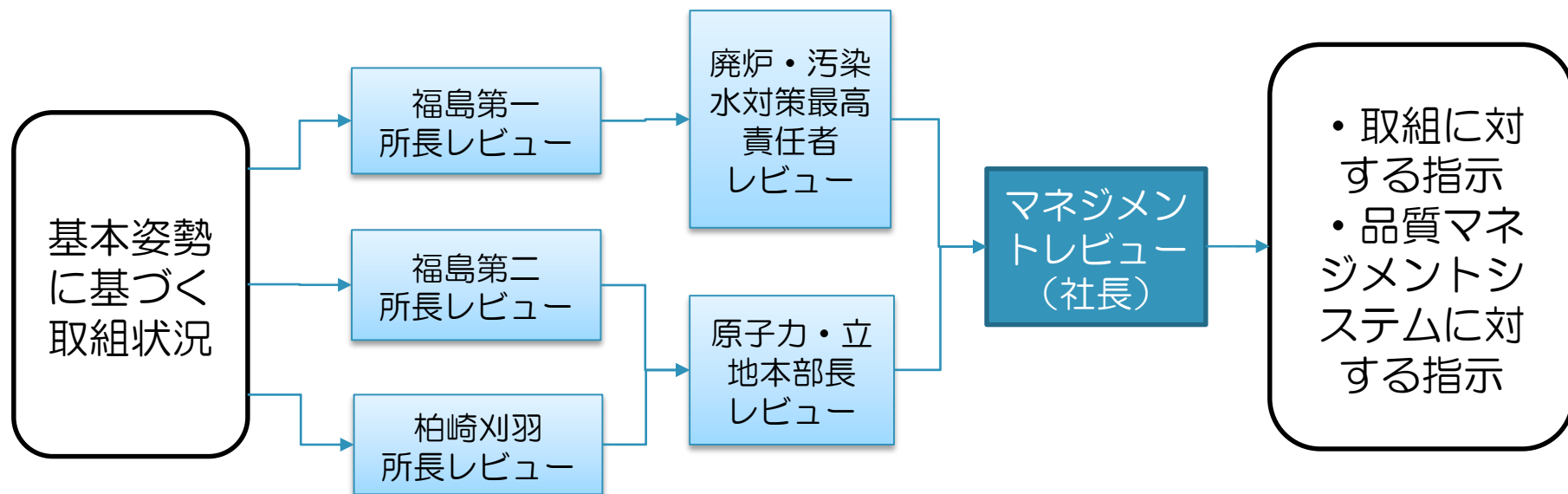
社長の責任のもと、当社は、福島第一原子力発電所の廃炉をやり遂げるとともに終わりなき原子力発電所の安全性向上を両立させていく。

その実現にあたっては、地元の要請に真摯に向き合い、決して独りよがりにはならず、地元と対話を重ね、主体性を持って責任を果たしていく。

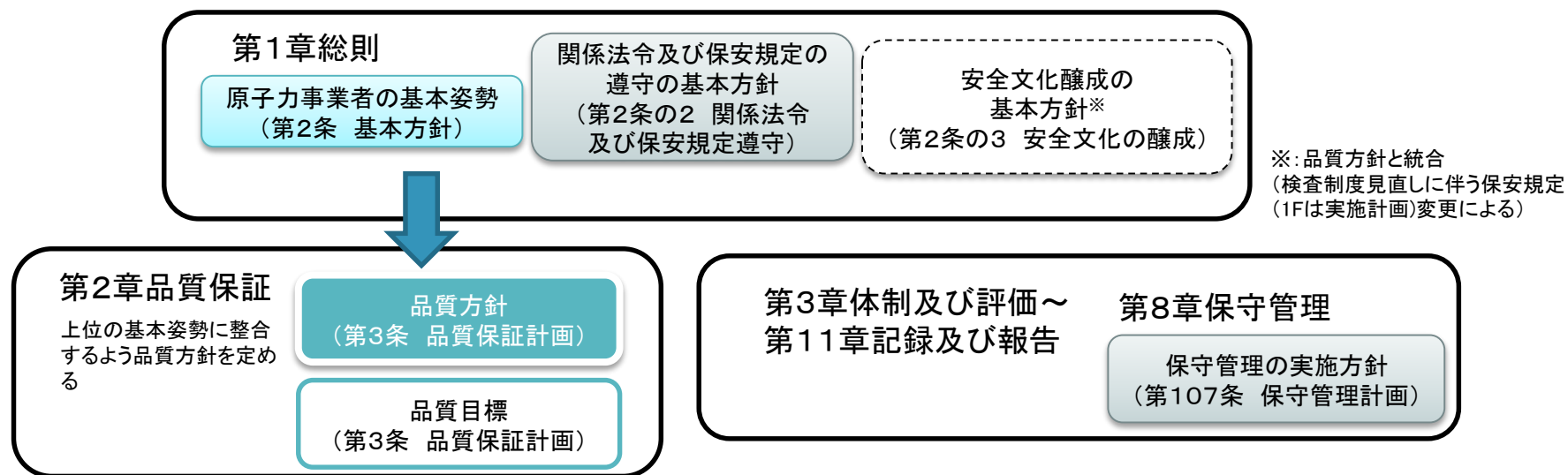
1. 福島第一原子力発電所の廃炉を進めるにあたっては、地元をはじめ関係者に対して理解を得ながら、廃炉を最後までやり遂げていく。
2. 福島第一原子力発電所の廃炉をやり遂げるとともに、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策に必要な資金を確保していく。

3. 安全性をおろそかにして経済性を優先することはしない。
4. 世界中の運転経験や技術の進歩を学び、リスクを低減する努力を継続していく。
5. 原子力発電所の安全性を向上するため、現場からの提案、世界中の団体・企業からの学びなどによる改善を継続的に行っていく。
6. 社長は、原子炉設置者のトップとして原子力安全の責任を担っていく。
7. 良好な部門間のコミュニケーションや発電所と本社経営層のコミュニケーションを通じて、情報を一元的に共有していく。

- マネジメントレビューを通じて業務の振り返りをする中で、基本姿勢の視点でも取組状況を確認する。実施状況に応じて、社長の責任のもと、必要な改善を図り、将来にわたって取り組んでいく。



- 保安規定では、複数の方針について規定しているが、基本姿勢は最上位である基本方針の一部とする。品質保証計画に定める品質方針は、基本姿勢と整合を図り、品質保証活動での整合性を確保する。
- 品質方針は、当社の原子力安全改革プランに基づいており、私たちの決意や価値観（安全意識、技術力、対話力）をもとに定めている。なお、安全文化醸成に関することは品質方針に統合し、安全文化醸成の基本方針は廃止する。



- 基本姿勢（7項目）の主要な取組は、業務と一体となっていて行われ、その結果をマネジメントレビューのインプットとして報告する。
- 取組内容は、達成状況に応じて見直され、継続して取り組んでいく。

### 基本姿勢の記載と主な取組（マネジメントレビューのインプット）

1

**福島第一原子力発電所の廃炉を進めるにあたっては、地元をはじめ関係者に対して理解を得ながら、廃炉を最後までやり遂げていく。**

【記載の考え】

- ・処理水、放射性廃棄物等の課題について地元と対話しながら、福島第一の廃炉をやり遂げることを基本姿勢として記載した。

- 廃炉中長期実行プランに基づく廃炉の進捗状況  
（プロセスの成果を含む実施状況）
- 立地地域の声を踏まえた広報活動の状況  
（原子力安全の達成に関する外部の受け止め方）



## 基本姿勢の記載と主な取組（マネジメントレビューのインプット）

<p>2</p>	<p><b>福島第一原子力発電所の廃炉をやり遂げるとともに、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策に必要な資金を確保していく。</b></p> <p>【記載の考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏崎刈羽原子力発電所の安全性向上を図るという観点から、安全対策に必要な資金を確保し、実行することを基本姿勢として記載した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○柏崎刈羽の安全対策の実施状況 （プロセスの成果を含む実施状況）</li> </ul>
<p>3</p>	<p><b>安全性をおろそかにして経済性を優先することはしない。</b></p> <p>【記載の考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全性をおろそかにして経済性を優先することはしない、ということの基本姿勢として記載した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○原子力安全監視室からの指摘・要望事項に対する対応状況 （原子力安全の達成に関する外部の受け止め方）</li> <li>○原子力安全改革プランを踏まえた品質目標の設定・実施状況 （プロセスの成果を含む実施状況）</li> </ul>

## 基本姿勢の記載と主な取組（マネジメントレビューのインプット）

4

**世界中の運転経験や技術の進歩を学び、リスクを低減する努力を継続していく。**

【記載の考え】

- ・さまざまな情報を収集し、日常的にリスクを下げていく努力を継続していくことを基本姿勢として記載した。

- リスク管理の運用状況  
（プロセスの成果を含む実施状況）
- 国内外の運転経験情報の活用  
（予防処置および是正処置の実施状況）

基本姿勢の記載と主な取組（マネジメントレビューのインプット）

5

原子力発電所の安全性を向上するため、現場からの提案、世界中の団体・企業からの学びなどによる改善を継続的に行っていく。

【記載の考え】

- ・自主的に安全性を向上するさまざまな取組があるが、このような活動を継続し、改善し続けることを基本姿勢として記載した。

- 現場リスクの気づきによる安全向上提案力強化コンペの実施（プロセスの成果を含む実施状況）
- 第三者レビューの指摘・要望の対応状況（原子力安全の達成に関する外部の受け止め方）
- 総合防災訓練による緊急時対応能力の向上（プロセスの成果を含む実施状況）

## 基本姿勢の記載と主な取組（マネジメントレビューのインプット）

6

社長は、原子炉設置者のトップとして原子力安全の責任を担っていく。

【記載の考え】

- ・社長はトップマネジメントとして保安活動を統轄し、原子力安全の責任を担うことを基本姿勢として記載した。

【基本姿勢（7項目）について社長の責任でPDCAを回すことそのものであり、インプット項目としない】

7

良好な部門間のコミュニケーションや発電所と本社経営層のコミュニケーションを通じて、情報を一元的に共有していく。

【記載の考え】

- ・さまざまな業務に応じて部門間で連携し、良好なコミュニケーションを通じて情報共有に取り組むことを基本姿勢として記載した。

○情報共有に関する取組みの実施状況  
（プロセスの成果を含む実施状況）